

パブリックコメントの実施結果について

1 案件名

「阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024 期）（案）」及び「第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」について

2 募集期間

令和3年1月25日（月）から 令和3年2月24日（水）まで

3 公表資料

- ・阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024 期）（案）
- ・第2期阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

4 広報手段

市広報紙（令和3年1月15日号）及び市ホームページに掲載

5 資料の入手場所等

市ホームページ、阿賀野市役所（企画財政課）、各支所（安田・京ヶ瀬・笹神）、阿賀野市立図書館

6 意見の提出件数

提出方法	提出人数（人）	意見数（件）
持参	1	1
郵送	0	0
F A X	0	0
電子メール	1	6
合 計	2	7

7 意見等の概要と市の考え方

別紙のとおり

●意見等の概要及び市の考え方

別紙

No.	【案】 該当頁	意見等の概要	市の考え方
1	64～67	<p>阿賀野バイパス開通において、旧49号線（仮称）“道の駅あがの”から阿賀町の“道の駅阿賀の里”まで「あがのロマンティック街道」と名付けてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> これにより、旧49号線の通る水原の本町通りのシャッター街を活性化させる。 そのため、駐車場の整備を行う。（大型駐車場を造るための用地を得て、財源に地方交付税交付金を充てる。） 安田にはサントピアワールドもあり、相当な客の出入りが見込まれる。 	<p>阿賀野バイパス開通後においては、現在の国道の交通量が一定程度減少することが想定されるところであります。阿賀野バイパスへのアクセス道路の整備による水原市街地における利便性の確保・向上に向けた取組と併せ、ご意見をいただいた内容を含め、近隣の市町との連携も考慮しながら、市域全体の活性化や交流人口の増加を図るための取組を検討してまいります。</p>
2	30～31	<p>新型コロナウイルス感染症による社会構造、社会行動の変化が確実な中で、これを踏まえた考え、構想の記載がない。 次回（3年後）では遅いと思うが。</p>	<p>「施策の重点化にあたっての基本的な考え方」（p31）に記載があるように、阿賀野市の現状、時代潮流、市民意識やニーズ、今後の人口減少などを踏まえ、次期基本計画においては、①人口減少対策、②デジタル化の推進、③防災・減災対策、④成果重視の視点に立った行政経営・財政運営の4つの視点に着目しながら施策の重点化を図り、「まちづくりの目標」の達成を図ることとしています。</p> <p>ご指摘をいただいた新型コロナウイルス感染症による社会構造、社会行動の変化についても、時代潮流（p8～p9）のひとつとして整理をしているところでありますが、「デジタル化の推進」などを通じて、こうした変化への対応を図ることとしています。</p>
3	35	<p>基本事業名～医師の育成確保の記載がないが、事業としては取り組んでいけないのか？</p>	<p>医師の高齢化や偏在化が進む中、地域医療体制の充実を目指す上で、医師確保の問題は、非常に重要な課題と認識しています。</p> <p>なお、次期基本計画においては、「市内の医療機関に従事する医師数」を施策の成果指標として設定した中で、継続的に医師の確保に取り組むこととしています。</p>
4	40～41	<p>感染症の記載がない。地域防災計画・国土強靱化地域計画に記載するので、記載はしないということで、理解してよろしいか。 であれば、ここは防災減災体制（自然災害）の充実ではないか。</p>	<p>感染症については、時代潮流（p8）の中で記載していますが、「防災・減災体制の充実」の施策の枠に留まらず、施策横断的な取組も含め、様々な施策分野に係る環境要因の一つと考えます。</p> <p>次期基本計画においても、感染症を含め、その時々の変化状況に柔軟に対応しながら、PDCAサイクルによる行政経営を進めてまいります。</p> <p>なお、防災・減災については、住民生活の各分野にわたり重大な影響を及ぼす様々な事態への対応が求められており、自然災害への対応に限定されるものではありません。「阿賀野市地域防災計画」においても、自然災害のほか、個別災害対策編として、原子力災害等への対応についても想定していることから、案のとおり記載とすることとします。</p>
5	40～41	<p>治水対策の推進で、床上・床下浸水以上の被害データのほかに、冠水する生活道路箇所の記載がない。</p>	<p>冠水する生活道路箇所については、「阿賀野市地域防災計画」の資料編で「重要水防箇所一覧」として整理しています。</p> <p>県に対する要望を含め、河川整備の推進等を通じて、浸水被害の防止に向けた取組を推進することとしています。</p>
6	65 73	<p>側溝清掃管理、街路樹管理による生活環境の確保に関する記載がないが、よろしいか。</p>	<p>総合計画については、まちづくりの基本的な指針であり、基本計画においては阿賀野市の成長や課題解決のために重点的に取り組むべき分野等について定めることとしていることから、必ずしも個別具体の取組（事務事業等）のすべてが網羅されているものではありません。</p> <p>ご意見の内容については、基本計画としての記載はありませんが、生活環境の確保に係る施策を総合的に推進する中で、適切に対応してまいります。</p>
7	74～75	<p>ゼロカーボンについて触れていないが、よろしいか。</p>	<p>平成25年に策定した「阿賀野市環境基本計画」の中で、「地球温暖化に対応したまちづくり」を基本施策のひとつとしています。</p> <p>現在、地球環境の保全に向けた施策を総合的に推進する中で、「ゼロカーボンシティ宣言」に向けた準備を進めており、2050年における二酸化炭素排出実質ゼロを見据えた具体的な取組については、「阿賀野市環境基本計画」及び「阿賀野市地球温暖化対策実行計画」の改定に合わせ、検討を進めてまいります。</p>